

2013 年度後期授業評価アンケート集計結果に対するコメント

—法学研究科—

法学研究科長 鋤 本 豊 博

授業評価アンケート項目のほとんどが 4.7 点以上（5 点満点評価）であるのは、院生の主体的に学ぶ意欲と教員の共に研究する意欲との相乗効果の表れかもしれない。最も低い評価（4.30 点）であった「予習または復習をよくした」という項目も、相当程度の予習・復習は当然であるという意識の反映であると言えなくもない。もしそうだとすれば、学問の府としての大学の存在価値は、大学院教育の中に見出すことができるように思われる。